

民間における中大規模木造建築：普及に向けた課題と展望

2021 年に施行された「都市（まち）の木造化推進法」の施行によって、民間の中大規模建築における木材利用のさらなる拡大に向けた取り組みが進んでいます。一方、その建設に際しては、公共建築と異なり、金融機関からの資金調達が必要になります。そのため、民間建築に関しては、木材利用による環境問題や地域経済への貢献度だけでなく、ランニングコストや建設費用を含む事業性の評価も求められます。そこで 2025 年 9-10 月の月例研究会では、これらの点に注目し、シリーズ「民間における中大規模木造建築：普及に向けた課題と展望」を企画しました。

9 月は、木造建築のランニングコストと深くかかわる建築寿命と耐用年数について、早稲田大学名誉教授の小松幸夫先生にご登壇頂きます。小松先生は、建築の寿命推計やライフサイクルマネジメント研究の第一人者です。「建物の寿命設計に関する研究」で日本建築学会賞を受賞されています。小松先生はこれまでおよそ半世紀に渡り、国内に統計資料が存在しない木造、RC 造、S 造等の建築の寿命について、固定資産税用の家屋台帳に基づく調査研究を継続されています。

10 月は、中大規模木造建築の建設費用削減の最新動向について、国内住宅メーカーで中規模木造建築に積極的に取り組んでいる AQ Group 商品技術部長の塚谷誠氏にご登壇頂きます。塚谷さんには、同社における開発部門の責任者として、建築および建材調達の工夫についてお話頂く予定です。

多くの皆さまの参加をお待ちしております。



小松幸夫 氏



塚谷誠 氏

9 月	第 146 回	日時：2025 年 9 月 18 日（木）15：30～（予定）（対面：総会記念講演）
		演題：木造住宅の寿命と耐用年数
		講師：小松幸夫 氏（早稲田大学名誉教授）
10 月	第 147 回	日時：2025 年 10 月 9 日（木）17：30～（配信開始 17：15）
		演題：中大規模木造建築のコスト戦略
		講師：塚谷誠 氏（AQ Group 商品技術部長）

□主 催： 木材利用システム研究会

□会 場： 9 月：弥生講堂一条ホール（東京大学農学部キャンパス）
10 月：ZOOM ミーティング

□参 加 費： 会員：無料、非会員：5,000 円（9 月）3,000 円（10 月）

□申込期限： 9 月：2025 年 9 月 15 日（月）

10 月：2025 年 10 月 6 日（月）

□申込方法： 研究会ホームページ（<https://www.woodforum.jp>）からお申し込みください。

□備 考： 最新情報は研究会ホームページを確認ください。

※ZOOM ミーティングの登録方法は、お申込み頂いた方に、研究会前日に連絡する予定です。



研究会 Web サイト

木材利用システム研究会事務局（長坂、知念、秋津）
113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7 号館 B 棟 438 室
東京大学木材利用システム学研究室内
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.jp